

2022年4月19日発行

22-16号

（http://www.jremnant.com/）

現場から（最近のニュースから）

**My Way**

新しい学期がはじまり、学校も職場も新しくなった人がおられるでしょう。これから、自分が願っている生き方ができるのか期待と不安で始まった生活でしょう。いまは、いったいなにが正しく、なにが正しくないか分からないほど、多くの情報が飛び交う時代です。新しい生活も、いままでどおりの生活も、いったいどうすれば、自分らしく生き抜けるのか、また、うまくいかなくなったとき、どうしたら良いのかを紹介している記事を見ることが多くあります。そのような記事の中のひとつに、立花佳代さんという方が離婚やシングルマザーとしての育児経験を経て起業をして書かれた、『やりたいこと、全部やりたい。』の記事を紹介しているものがありました。

立花さんは、必ずしも「自分の好きなことにこだわらなくてもいい」と言われているということです。立花さんは、自分の経験から、好きなことを見つけてから何かを始めることより、「今やっていることや、目の前にあること」の中から好きなことを探してみると、思いのほか楽しいことが見つかるかもしれないと言われているそうです。また、忙しくしていると「やりたいこと」という思いより「やるべきこと」が優先されてしまうので、そのときは、自分が「やりたいから始めた」という原点に戻ってみるようにということです。また、「目の前の仕事を楽しむことが大切」と言われ、がむしゃらに目の前の仕事に打ち込むことではなく、「どうしても合わない」と思えることは、やめてしまうように勧めておられます。何かをやめることは、決して失うことではなく自由になることであり、心から正しいと思える選択であれば、結果的に捨てたとしても、同等のものが後からやってくると言われています。（4月17日Saita＜「やめる」とは失うのではなく「自由」になること。"やりたいこと全部やるための考え方”＞より）

今、目の前にあることの中で、自分の好きなことを探し、その中から「やりたいこと」を見つけて、それをやり続けるために、捨てるべきことは大胆に捨てていくようにすれば、「やりたいことは全部できる」ということでしょう。

たしかに、自分のやりたいことをやり通せる人生は、とてもすてきに見えます。自分のやりたいことをすべてやりぬいたとき、満足に生きることができ、すばらしい人生になるということが前提です。そのようにしてきた人は、人の前では「自分は自分のやりたいことをやってきた。私は私の道を歩いた」と言えるかもしれません。まるで、フランク・シナトラが歌ってヒットした曲「My Way」のように。My Wayの歌詞の最後に「私は私の道を歩んだんだ。Yes, it was my way.そう　それが私の道だった」とあります。多くの人が、この歌のように、私は私の道を歩んだと言って、自分で満足しようとします。しかし、実際には、どうしようもないむなしさが漂うはずです。それがこの曲が「どこか陰鬱な日常をシニカルに描くもの」だと言われているゆえんでしょう。人間は、自分が思うとおりに生きることで満足できる存在ではありません。なにが人間には必要であり、また、どうすれば満たされた人生になるのでしょうか。そのことをごいっしょに見てみませんか。

救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。

それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。

神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス･キリストです。イエス･キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してくださり(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス･キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス･キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス･キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを

認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の

神様として受け入れます。私の罪を赦してくださり、私を救ってくださったことを感謝

いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・

キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください